

学校教育出前授業を実施して

副会長 常谷 薫
(つねたに かおる)

平成28年5月25日に香川県立高松工芸高等学校、6月10日に香川県立多度津高等学校で、学校教育出前授業を実施しました。両校とも進路指導の先生から、社労士会に出前授業の実施依頼がありました。そこで、今年度の事業計画に、社会保障及び労働に関する学生等の理解向上を目的に出前授業を実施することを掲げていたこともあり、両校の実施依頼をお受けしました。

高松工芸高校については、「キャリア教育講演会(定時制課程)」の講師も依頼されました。この講演会の趣旨は、「若年者の早期離職や雇用のミスマッチなど、近年、社会問題になっている現象を防止できるように進路指導をすること」と「生徒一人ひとりが社会の中で役割を果たし、自分らしい生き方ができるようキャリア教育を推進すること」でした。そこで、受講生が定時制の生徒ということもあり、「就職・アルバイトをする前に知っておきたい7つのポイント」と題し、主に厚生労働省「学生の皆さんへアルバイトをする前に知っておきたい7つのポイント」のパンフレットを使って授業をしました。

多度津高校については、高校生の就職活動のルールとして、企業は求人票を6月20日以降にハローワークに提出し、7月1日以降にハローワークの確認印の押された求人票を使って学校に求人申込をすることとなっているため、また、生徒が3年生、実施日が6月10日であったこともあり、「企業選びのポイント」と題し、主に求人票の見方を、ハローワークの求人票(例)を使って授業をしました。

なお、両校の生徒には、全国社会保険労務士会連合会が作成した冊子「知っておきたい働くときの基礎知識 ～社会にでる君たちへ～」を配付し、授業の参考資料として使用しました。

授業や冊子の内容は、理解するのが難しかったと思いますが、実際にアルバイトをしていて感じる悩みや疑問点の解決、就職活動における企業選び、そして、将来いきいきと働くための助けになればと思いました。



高松工芸高校



多度津高校